

出雲の國「社寺縁座の会」の皆様によります第8回目の世界平和祈願祭が、ここ佐太神社でこのように盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

この平和祈願祭は、山陰の地から平和の祈りを世界に向けて発信していこうとする意義深い取り組みであります。

これまでの皆様方のご尽力に深く敬意を表する次第であります。

昨年、東日本大震災で多くの尊い命が失われました。それから1年が過ぎました。その爪痕は深く、復旧・復興にも時間を要し、被災された方々には、本当に厳しい状況が続いております。

被災地が復興し、平和で安心して暮らせる生活を一日も早く取り戻されるよう、あらためてお祈り申し上げます次第であります。

さて、本年は、「古事記編纂1300年」という節目の年であります。島根県には、いにしえから受け継がれてきた文化・歴史がたくさん残っております。佐太神社もその一つであります。

この佐太神社に約400年前から伝わる「佐陀神能」^{さだしのう}が、昨年11月にユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。これも、関係の皆様が長年にわたり伝統文化を守ってこられたご努力が世界に評価されたものであり、心より敬意を表する次第であります。

こうした島根の古き良き文化・伝統などを全国の方々に知っていただくため、「神話博しまね」を出雲大社周辺で7月21日から開催いたします。また、鳥取県では、ほぼ時期を同じくして「国際まんが博」が開催されます。

こうした機会を通じまして、島根・鳥取両県で力を合わせ、山陰の魅力を全国の皆様にお伝えし、山陰の地にお越しいただけるよう情報発信を行っているところであります。

その中で、オオクニヌシノミコトの国譲りに見られますように、神話に託された、命を大切にし平和を愛する「和」の心を、皆様とともに世界に伝えていきたいと考えております。

終わりに、「出雲國神仏霊場」の護持にご尽力されている出雲の國「社寺縁座の会」の皆様をはじめ、関係者の皆様の、今後ますますのご発展とご健勝を祈念し、ご挨拶いたします。

※「出雲國神仏霊場」は、出雲大社や清水寺など、出雲地域を中心とする20の神社・仏閣を巡る参拝の道であり、参拝先の神社・仏閣からなる「出雲の國『社寺縁座の会』」により運営されています。